

警防通信課

消防隊・救急隊・救助隊等の運用計画、消防車両の管理・補助金、消防相互応援協定等、また、火災等災害出動等における出動指令をつかさどる消防通信施設の管理及び運用等の業務を行っています。

◆ 警防係

管内に航空自衛隊新田原基地があり、これまでに救急自動車、水槽付消防ポンプ自動車、救助工作車、水槽車等においては、防衛省補助事業を活用し更新してきました。さらに、令和元年度には、消防力の整備指針で必要な化学消防ポンプ自動車を新たに整備し、危険物施設等火災に対し、更なる強化を図りました。また、県の地域消防防災活動支援事業の補助金制度を活用し、様々な消防資機材の整備に努めています。



(化学消防ポンプ自動車)

◆ 通信指令室

平成3年4月1日から消防無線及び119番の受信が集中管理となり、平成16年3月17日から現庁舎での高機能消防指令システムでの業務を開始。さらに、平成25年6月3日に消防救急デジタル無線整備工事に着手し、平成27年4月3日から運用を開始しました。119番入電件数は、記録が残る2004年中は2,983件であり、2019年中は3,864件と過去最高を記録し、今後も増加が見込まれます。



(高機能消防指令システム)

◆ 緊急消防援助隊合同訓練

緊急消防援助隊は、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災（死者6,000人、負傷者40,000人、家屋被害500,000棟を超える被害）を契機に、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動をより効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築することを目的に創設されました。



毎年、全国を6ブロックに分けて合同訓練が実施されており、九州ブロックでは、沖縄県を含む九州各県輪番制で合同訓練を行っています。平成23年11月4日の合同訓練では当消防本部がサテライト会場となり、被災地初動対応訓練及び先遣隊運用訓練を実施しました。



(令和2年の訓練状況 宮崎県高原町)

◆ 緊急消防援助隊の出動実績

東日本大震災（平成23年3月14日岩手県陸前高田市）に救急小隊1隊3名を派遣

熊本地震（平成28年4月14日熊本県熊本市外）に救急小隊1隊3名を派遣し、その後、第4次まで派遣（延べ12名）

九州北部豪雨（平成29年7月5日大分県中津市・日田市）に救急小隊1隊3名を派遣し、その後、第2次まで派遣（延べ6名）

令和2年7月豪雨（令和2年7月4日熊本県人吉市）に救急小隊1隊3名、後方支援隊1隊1名の計4名を派遣し、その後、第4次まで派遣（延べ16名）



(熊本地震)



(令和2年7月豪雨 熊本県人吉市)